

熊本県院内がん登録データに係る統計 - 2019年診断症例 -

医療機関名	 独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター
-------	---

○基本情報

【令和元年12月現在】

所在地	熊本市中央区二の丸1-5
病床数	550床
診療科数	34科
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08
がん登録開始基準日	2007.09.01
平均在院日数	12.5 (日)
入院患者数	14,761 (人)
外来患者延数	146,401 (人)
院内がん登録件数	1,909 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 1 / 初級者 1 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

【登録件数・症例数の多い登録部位】

国立病院機構熊本医療センターの2019年診断症例の院内がん登録件数は1909件であった。例年通り悪性血液疾患(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群等)が最も多く310件、次いで大腸(結腸・直腸)273件、子宮頸部172件であった。(その他231件除く)

【性別・件数が多い部位別罹患平均年齢】

男性:①悪性血液疾患 173件 68.8歳 ②大腸 139件 69.6歳 ③前立腺 131件 74.8歳  
 女性:①子宮頸部 172件 49.4歳 ②乳房 152件 62.1歳 ③悪性血液疾患 137件 68.9歳

【症例数の多い部位の主な治療方法・特色】

- 1)『悪性血液疾患』日本骨髄バンクと日本臍帯血バンクの認定施設として、同種造血幹細胞移植を実践している。
- 2)『大腸』症例に応じて、患者様の身体的に負担の少ない鏡視下手術を積極的に取り入れている。また化学療法、放射線療法と組み合わせた集学的治療を実践している。
- 3)『子宮頸部』過去の実績から多くのがん患者様の治療を経験しており、手術療法、化学療法、放射線療法と組み合わせた集学的治療を実践している。

【熊本医療センターの特徴・役割】

精神科を有しており、精神障害を合併されたがん患者様の治療に対応している。2015年より腫瘍内科が新設され、がん薬物療法を専門に扱う腫瘍内科医4名の体制となったことで、全ての種類のがん診療に対応することが可能になった。2020年より新館にがん総合医療センターが開設したことで、より多くの患者様に寄り添ったがん治療を提供する体制を整えた。今後も地域がん診療連携拠点病院としての役割を果たすため、チーム医療、医療連携の充実を図っていく。

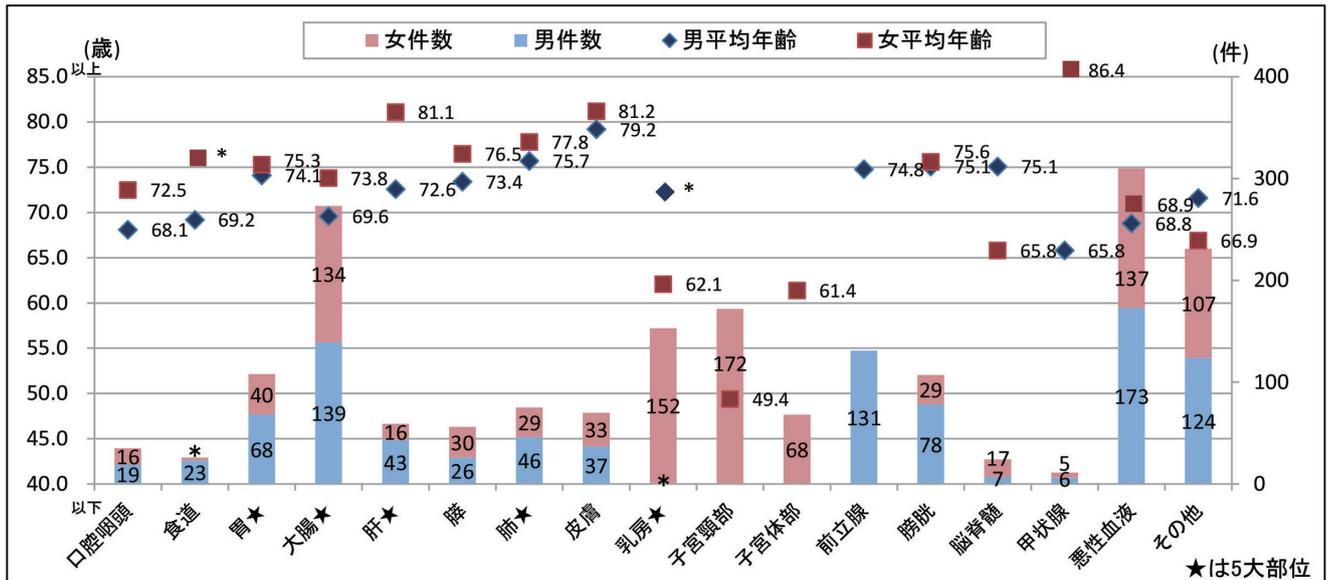
診断年別登録件数  
(参考)



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

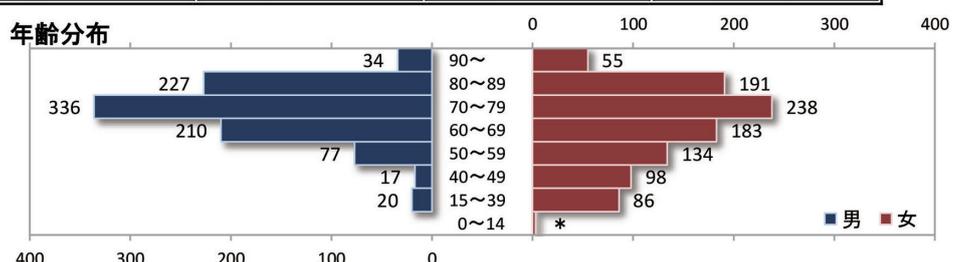


男性全体	0~14歳		15~39歳		40~49歳		50~59歳		
悪性血液	173		悪性血液	11	大腸	4	悪性血液	19	
大腸	139		複数部位	*	悪性血液	4	大腸	17	
前立腺	131				その他	4	その他	8	
その他	124				複数部位	*	胃	7	
膀胱	78						肝	6	
胃	68						など		
肺	46		計	20	計	17	計	77	
肝	43								
皮膚	37	悪性血液	45	前立腺	65	悪性血液	39	膀胱	6
膵	26	大腸	38	大腸	55	前立腺	35	その他	6
食道	23	その他	31	悪性血液	51	その他	30	膵	5
口腔咽頭	19	前立腺	27	その他	42	複数部位	各23	肺	5
脳脊髄	7	膀胱	18	膀胱	24	など		悪性血液	4
甲状腺	6	など		など				複数部位	*
乳房	*	計	210	計	336	計	227	計	34
子宮頸部									
子宮体部									
計	921								



女性全体	0~14歳		15~39歳		40~49歳		50~59歳		
子宮頸部	172	複数部位	*	子宮頸部	55	子宮頸部	48	乳房	31
乳房	152		その他	10	乳房	23	子宮頸部	25	
悪性血液	137		悪性血液	7	その他	10	子宮体部	22	
大腸	134		乳房	4	悪性血液	7	悪性血液	20	
その他	107		子宮体部	4	子宮体部	5	大腸	13	
子宮体部	68		複数部位	*	など		など		
胃	40	計	*	計	86	計	98	計	134
皮膚	33								
膵	30	乳房	49	大腸	45	大腸	38	大腸	9
肺	29	その他	25	悪性血液	35	悪性血液	36	皮膚	8
膀胱	29	大腸	24	乳房	32	その他	20	悪性血液	8
脳脊髄	17	悪性血液	21	その他	24	胃	17	その他	8
口腔咽頭	16	子宮頸部	20	複数部位	各14	肺	13	膵	4
肝	16	など		など		など		複数部位	*
甲状腺	5	計	183	計	238	計	191	計	55
食道	*								
前立腺									
計	988								

年齢分布



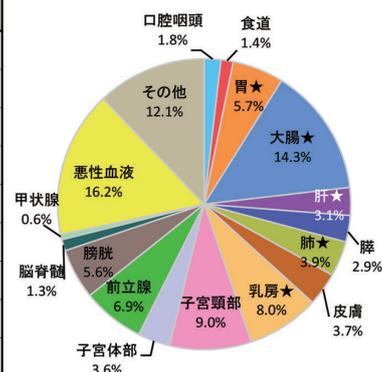
## II 施設別統計

熊本医療センター

### ⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H29年度収集)	2017年症例 (H30年度収集)	2018年症例 (R01年度収集)	2019年症例 (R02年度収集)
口腔咽頭	37	34	32	50	35
食道	16	16	21	21	26
胃★	101	121	116	139	108
大腸★	190	241	245	235	273
肝★	54	72	40	63	59
膵	52	37	52	61	56
肺★	54	56	66	60	75
皮膚	85	106	94	79	70
乳房★	104	137	105	127	153
子宮頸部	270	258	240	210	172
子宮体部	(頸部・体部)	(頸部・体部)	(頸部・体部)	(頸部・体部)	68
前立腺	135	126	147	164	131
膀胱	91	106	108	94	107
脳脊髄	26	36	26	24	24
甲状腺					11
悪性血液疾患	301	378	303	327	310
その他	222	225	206	219	231
計	1,738	1,949	1,801	1,873	1,909

2019年診断症例 主要部位別割合



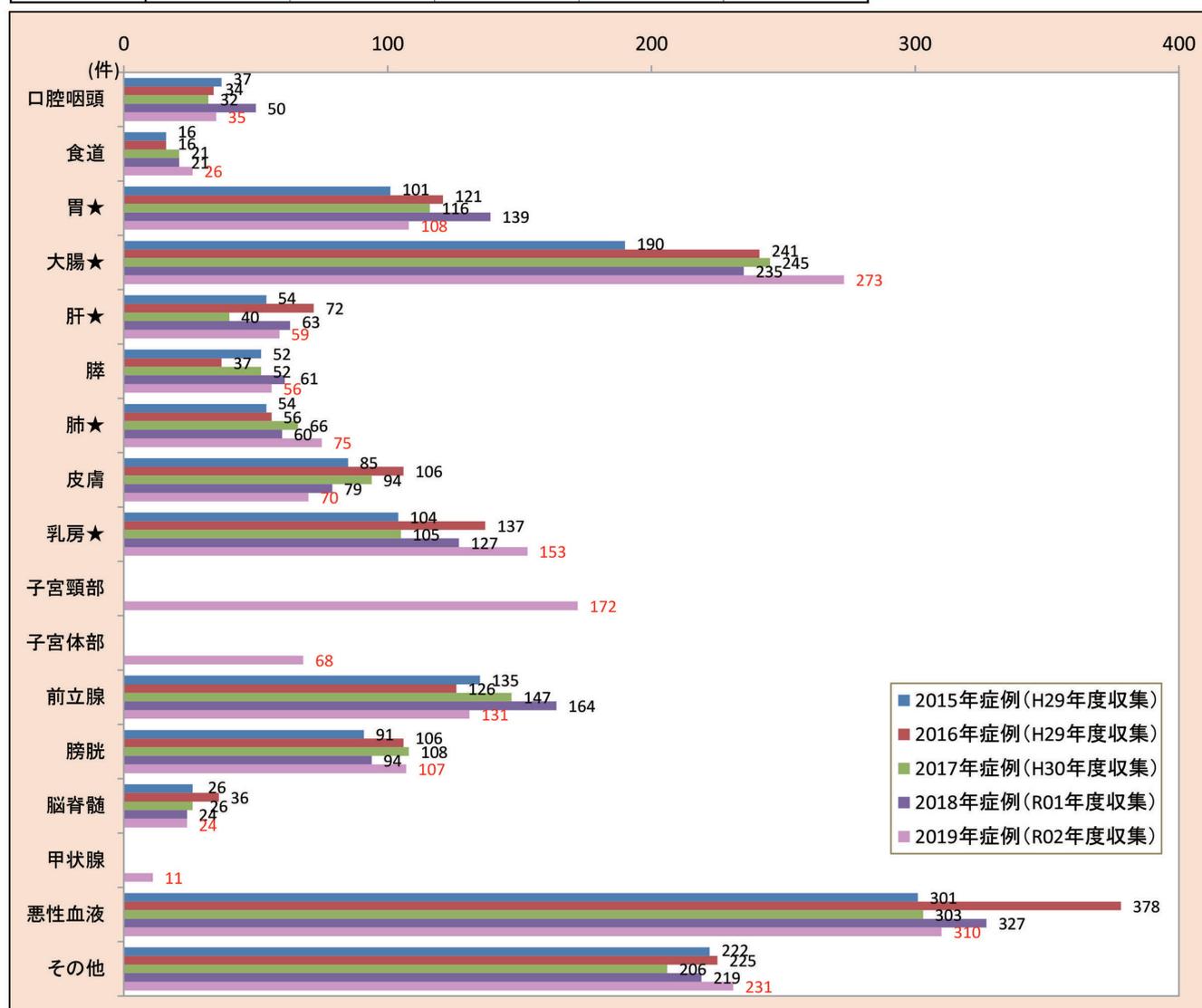
※大腸は結腸と直腸

※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍

※その他は分類にないもの全て(胆管、卵巣、骨軟部など)

※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離

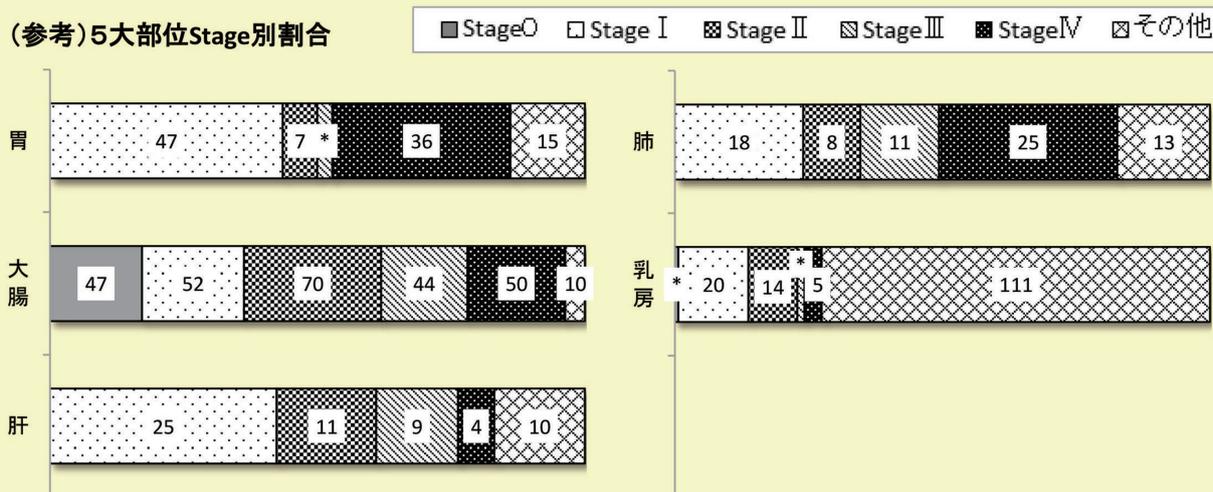
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



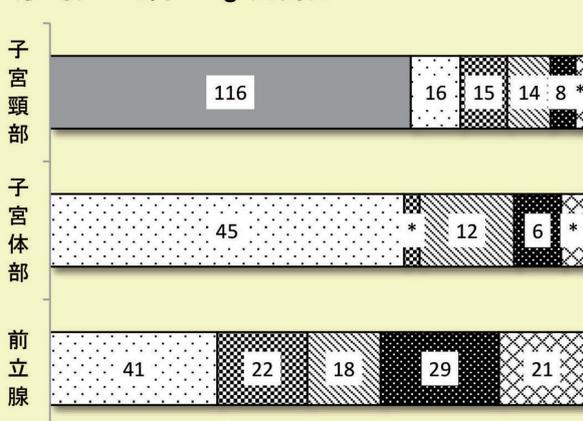
⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage0	Stage I	Stage II	Stage III	StageIV	その他
口腔咽頭	35	*	11	*	*	6	10
食道	26	4	5	*	*	10	*
胃★	108		47	7	*	36	15
大腸★	273	47	52	70	44	50	10
肝★	59		25	11	9	4	10
膵	56		14	7	4	28	*
肺★	75		18	8	11	25	13
皮膚	70	17	40	8		*	4
乳房★	153	*	20	14	*	5	111
子宮頸部	172	116	16	15	14	8	*
子宮体部	68		45	*	12	6	*
前立腺	131		41	22	18	29	21
膀胱	107	40	23	17	10	5	12
脳脊髄	24						24
甲状腺	11		4	*	*	*	*
悪性血液疾患	310		28	26	23	32	201
その他	231	15	76	17	31	37	55
計	1,909	243	465	229	188	284	500

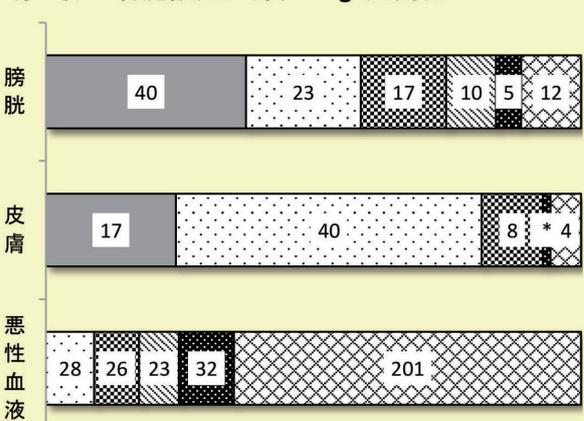
(参考)5大部位Stage別割合



(参考)+3部位Stage別割合



(参考)+各施設追加部位Stage別割合



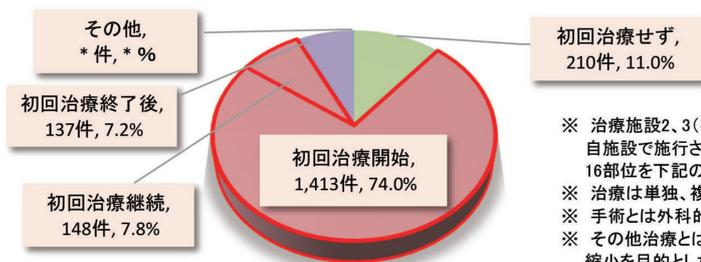
- ※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
- ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
- ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
- ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

## II 施設別統計

熊本医療センター

### ⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

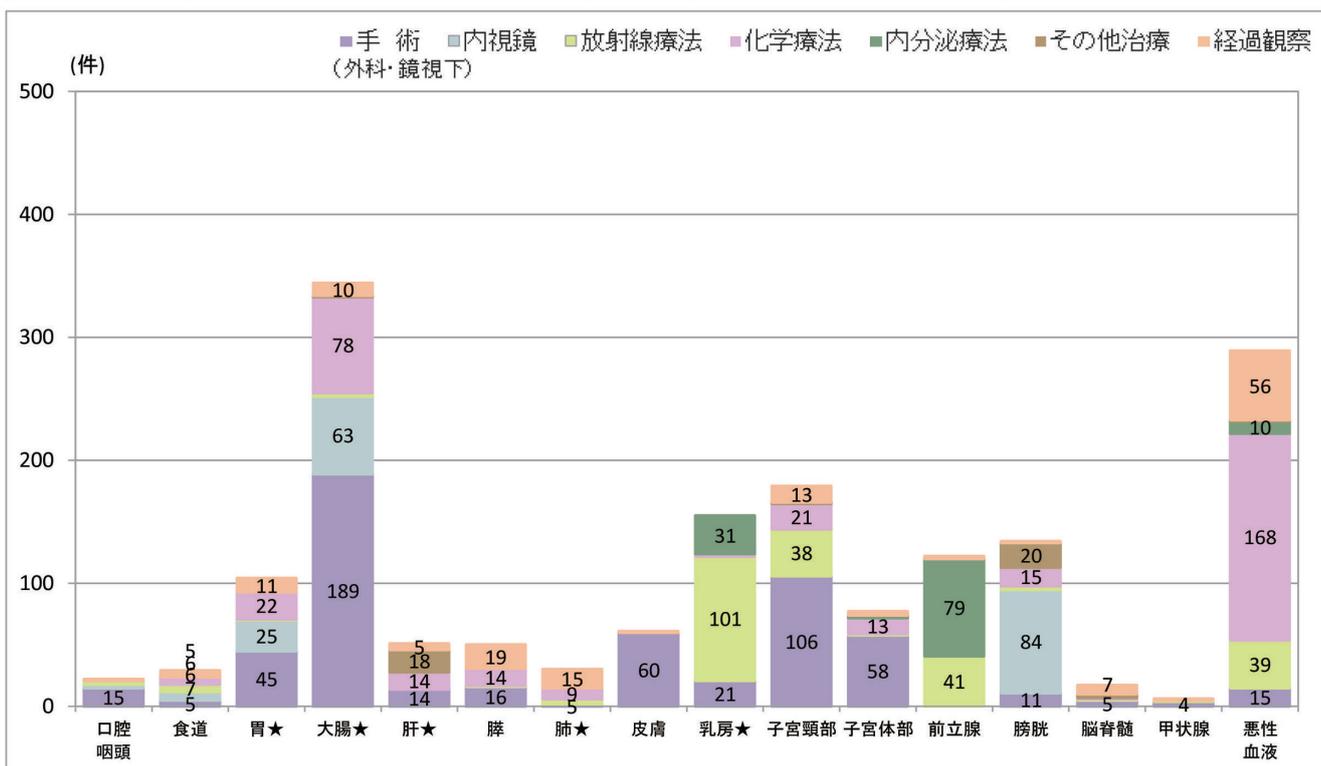
治療施設	件数
1初回治療せず	210
2初回治療開始	1,413
3初回治療継続	148
4初回治療終了後	137
8その他	*
計	1,909



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計  
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算  
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計  
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療  
 ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したものの

### ⑨ 主要部位別治療の内訳

	(外科・手術 鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移巣のみ 切除など)	不明
口腔咽頭	15	*	*				*	22	94.4%	5.6%	0.0%
食道	5	7	6	6			5	29	91.7%	8.3%	0.0%
胃★	45	25	*	22			11	104	82.6%	17.4%	0.0%
大腸★	189	63	*	78		*	10	344	88.2%	11.3%	0.4%
肝★	14			14		18	5	51	92.9%	7.1%	0.0%
膵	16		*	14			19	50	93.8%	6.3%	0.0%
肺★	*		5	9			15	30	100.0%	0.0%	0.0%
皮膚	60						*	61	93.3%	5.0%	1.7%
乳房★	21		101	*	31			155	90.5%	9.5%	0.0%
子宮頸部	106		38	21		*	13	179	99.1%	0.9%	0.0%
子宮体部	58		*	13	*		*	77	91.4%	8.6%	0.0%
前立腺			41		79		*	122			
膀胱	11	84	*	15		20	*	134	66.7%	31.0%	2.3%
脳脊髄	5		*	*		*	7	17	80.0%	20.0%	0.0%
甲状腺	4		*				*	6	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患	15		39	168	10	*	56	289	60.0%	33.3%	6.7%
計	565	182	244	363	122	44	150	1,670			



⑩ 5大部位(総合Stage別)の  
主な治療

- ※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 分類はUICC8版に基づく
- ※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
- ※ 手術とは外科的・鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと(経過観察は含まない)

